



令和5年
8月24日

俵山・豊田道路工事現場
下関市豊田生涯学習
センター

けんせつ小町に会おう！工事現場見学会と座談会

主催：山口県 共催：国土交通省中国地方整備局山陰西部国道事務所、(一社)山口県建設業協会
後援：山口県教育委員会、山口県地域を支える建設産業担い手確保・育成協議会

令和5年8月24日、下関市豊田町において「けんせつ小町に会おう！工事現場見学会と座談会」を開催しました。このイベントは建設業に関心を持つ女性を対象に、女性技術者・技能者等である「けんせつ小町」との交流を通じて、建設業への理解を深め、業界の魅力を知ってもらうことを目的としています。令和5年度は徳山商工高等学校、徳山工業高等専門学校から延べ36名の女子学生と、20名のけんせつ小町に参加いただきました。

午前はずまず下関市豊田生涯学習センターに集合し、けんせつ小町と学生の座談会を行いました。参加者はグループに分かれ、フリートーク形式で座談会を開始。官民それぞれの仕事の内容や勤務時間、職場でのコミュニケーションの取り方、プライベートの過ごし方など、女性目線で建設業について話していただきました。

学生は初めは緊張気味でしたが、女性同士の和やかな雰囲気の中で、次第に質問も増え「子育てとの両立は「残業はどのくらいあるのか」「資格をとるための勉強法は」など、将来に向けての疑問や不安等を積極的に聞いていました。

午後はICTを用いた施工が行われている俵山・豊田道路の掘削工事と橋梁建設の現場を見学しました。

掘削工事の現場では、ドローン等を用いた測量やICT建機を使った施工が行われており、3次元設計データの作成方法やICT建機による掘削の様子などの説明を受けました。またこの現場では、バックテリアを利用した自己治癒コンクリートが活用されており、修復の方法やバックテリアの生態についても学びました。

橋梁建設の現場では、現場に完成形を映し出すAR等を体験。「2次元では確認が難しい箇所も3次元では視覚的に把握ができ、若手技術者でも完成形の形がイメージしやすい」との担当者の話に生徒が頷く姿も見られました。

小町の方にお話を伺うことで、就職後のイメージがわかりました。挨拶をしっかりする、分からないことはすぐ聞くなど、特にコミュニケーションについて大切なことを教えていただきました。

座談会を通して、現場監督の仕事が理解できました。建築がやりたくて今の学校に入りましたが、土木もいいなど感じています。人の命を助けられる方を選びたいです！

建設業の魅力は完成したときの達成感！私は建築の現場管理ですが、お客さんの喜ぶ顔を直接見ることができて嬉しいものです。ぜひ建築にも興味を持ってもらえたらと思います。

現場は体力的に大変なこともあります。上司に協力をお願いしたり、片付けなどでは男性が気づかないような点にも配慮したりと、一人ひとりが特性を活かしながら働ける職場だと思います。

生徒の皆さんがとても意欲的で感心しました。建設業もICT化によって、女性でも若いうちから活躍することができると思います。できることが増えていくと仕事はどんどん楽しくなりますよ！



㈱いのけん
榊田 桃子さん



井森工業 ㈱
福永 七海さん



協和建設工業 ㈱
垣内 ひなたさん



徳山高専2年
窪田 滯さん



徳山商工3年
池田 心海さん